

## 新材料探索 SaaS 型プラットフォーム「TABRASA (タブラサ)」 三洋化成工業株式会社が導入を決定

長瀬産業株式会社（東京都中央区、代表取締役社長：朝倉 研二、以下「長瀬産業」）と三洋化成工業株式会社（京都市東山区、代表取締役社長：安藤 孝夫、以下「三洋化成工業」）は、長瀬産業が米国 IBM 社（以下、IBM）と共同開発した新材料探索 SaaS 型プラットフォーム「TABRASA (タブラサ)」を、三洋化成工業に提供開始することで合意しました。

同プラットフォームは、IBM が開発した技術を長瀬産業がマテリアルズ・インフォマティクス (MI) 用ソフトウェアサービス (SaaS) として製品化、2020年11月からサービス提供を開始したもので、三洋化成工業が初めての導入事例となります。

TABRASA は AI に機械学習させた物質の分子構造や物性値データから新素材の化学構造式を導く「アナリティクス・アプローチ」に加え、IBM リサーチ・コグニティブ・ディスカバリー技術による「コグニティブ・アプローチ」の2つの異なるアプローチで素材探索できるのが強みです（※1）。どちらか1つのエンジンでも導入可能で、三洋化成工業ではコグニティブ・アプローチを導入します。

三洋化成工業は、界面制御技術に強みを持ち、幅広い分野で活躍する機能化学品を取りそろえています。多様な顧客ニーズにシーズを組み合わせて迅速かつ多角的に製品を開発する「ニーシーズ指向」の研究開発を推し進めており、現在はエネルギー・エレクトロニクス分野、バイオ・メディカル分野、化粧品分野などの開発に注力しています。経済活動のグローバル化や、AI・5Gなどのデジタル技術の発展に伴う技術の高度化、製品サイクルの短期化などを背景に新製品開発の競争が国際的に激化しており、同サービスの導入により各研究部が保有する技術情報の横断利用と MI によるデータ駆動型研究開発を強化し、効率的な製品開発を目指します。

長瀬産業は商社として幅広い顧客ネットワークを有しており、TABRASA の提供等を通じてビジネスパートナーがまだ気づいていない価値を見つけ、課題解決に貢献する新たなビジネスモデルを通じて「人々が安心・安全で快適に暮らせる温もりある社会の実現」を目指します。

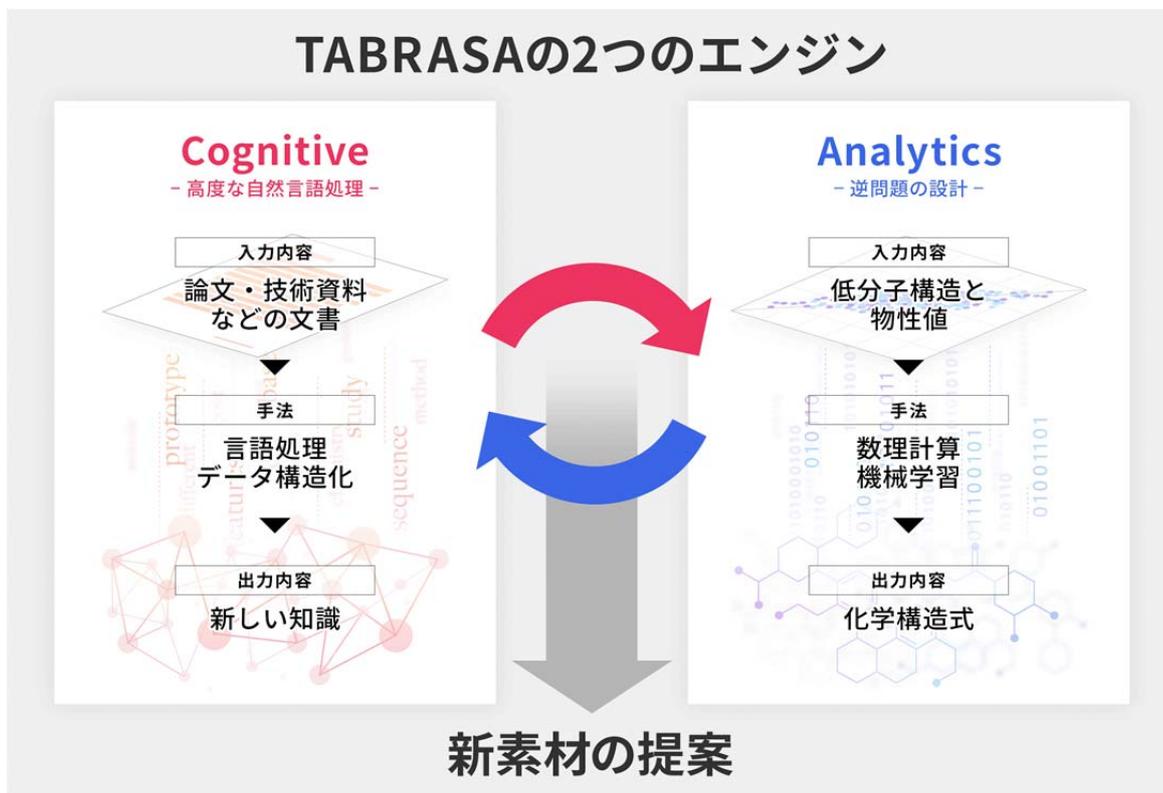
### ■ 三洋化成工業の概要

(1) 名称	三洋化成工業株式会社
(2) 本社所在地	京都市東山区
(3) 代表者	代表取締役社長 安藤 孝夫
(4) 創立	1949年11月
(5) 事業概要	約 3,000 品種のパフォーマンス・ケミカルス（機能化学品）の製造・販売
(6) URL	<a href="https://www.sanyo-chemical.co.jp/">https://www.sanyo-chemical.co.jp/</a>

■ 長瀬産業の概要

(1) 名称	長瀬産業株式会社
(2) 本社所在地	東京都中央区
(3) 代表者	代表取締役社長 朝倉 研二
(4) 創業	1832年6月
(5) 事業概要	化学品、合成樹脂、電子材料、化粧品、健康食品等の輸出・輸入及び販売
(6) URL	<a href="https://www.nagase.co.jp/">https://www.nagase.co.jp/</a>

【※1】TABRASA の特徴



◆本件に関するお問い合わせ先

長瀬産業株式会社 経営企画本部 企画管理室 TEL:03-3665-3640

三洋化成工業株式会社 コーポレートコミュニケーション本部  
メディア・IR部 TEL: 075-541-4312

<製品に関するお問い合わせ>

TABRASA 製品サイト URL : <https://tabrasa.jp/>